

社会資本総合整備計画の事後評価報告シート

^{いな}「^ひ稲むらの^{つな}火」^{みしゅうらい}津波襲来から^{ふっこう}復興を^と遂げた^{まち}街なみを
^い活かした、^{れきし}歴史と^{でんしょう}伝承が^{いき}息づくまちづくり

^{わかやまけん}
和歌山県
^{ひろがわちょう}
広川町

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月16日

計画の名称	「稲むらの火」津波襲来から復興を遂げた街なみを活かした、歴史と伝承が息づくまちづくり											
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	広川町, 和歌山県											
計画の目標	濱口梧陵が村の人々を守るために奔走した「稲むらの火」の物語と、広村堤防を築堤し村の復興に導いた防災の象徴的な事柄が伝わる、歴史と伝承が息づく良好な街なみ環境を向上させる。 ・貴重な歴史的遺産と豊かな自然環境を活かした高質空間の形成による、来訪者がまちの魅力を感じられるまちづくり ・稲むらの火整備地区内外の町民が「稲むらの火」関連資産の魅力を感じ、郷土に対する愛着が持てるまちづくり											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	540	A	537	B	0	C	0	D	3	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	津波防災について学ぶ「津波防災教育センター」と濱口梧陵を称えた「濱口梧陵記念館」の合築施設「稲むらの火の館」の入館者数を28,481人/年(H27)から33,000人/年(R3)に増加 稲むらの火の館の年間入館者数を集計する	28481人/年	30000人/年	33000人/年
2	語り部サークル(稲むらの火関連史跡)の案内回数を150回/年から165回/年に増加 語り部サークルの年間の案内回数を集計する	150回/年	158回/年	165回/年
3	歴史的風致形成建造物の指定件数を3件(H28認定後予定)から6件(R3)に増加 歴史的風致形成建造物の指定が予定される物件を調査し、指定した件数を集計する	3件/年	5件/年	6件/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	広川町	直接	広川町	-	-	街なみ環境整備事業(稲むらの火整備地区)	地区施設整備(公園、広場、道路)、歴史的風致形成建造物整備、水路美装化、街灯美装化、町道美装化等	広川町						537	1.63	-	
												小計						537		
											合計						537			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 和歌山県および広川町において実施	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 和歌山県および広川町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、目標値に達することはできなかったが、公園・広場・水路・街灯美装等の整備により、良好な街なみ環境の向上を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた中でも、稲むらの火の館 の令和4年度入館者数は、23,515人で、令和3年度の18,855人と比べて、4,660人増加しており、令和5年度に入ってから予約数も増加してきているので、今後も引き続き整備した施設を活かし、まちの魅力が感じられる まちづくり を推進していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	稲むらの火の館 年間入館者数	
	最終目標値	33000人 / 年
	最終実績値	23515人 / 年
2	語り部サークル 年間案内回数	
	最終目標値	165回 / 年
	最終実績値	82回 / 年
3	歴史的風致形成建造物 指定件数	
	最終目標値	6件 / 年
	最終実績値	6件 / 年